



ゆっくり芽をだせ 萬歳っこ

旭市立萬歳小学校
学校だより No.2
平成 29 年 4 月 24 日

よき伝統：学校・家庭・地域が一体となって育ててきたもの

去る 4 月 21 日全校 PTA 集会にはたくさんの保護者の皆様にご参会頂き、本当にありがとうございました。時間の関係で校長挨拶から割愛したエピソードをお伝えします。

エピソード 1：伝統は日々の積み重ねから

「おはようございます！」

元気に子どもたちとあいさつを交わしながらの交通観察。私の毎朝の楽しみです。

子どもたちが元気に登校する姿を見て、感心したことがあります。道路の端を一列で整然と歩いてくることです。列を乱したり、並んで歩きながらおしゃべりをしたりする姿は一度も見かけません。歩道が狭く交通量も多いために危険であることも事実です。しかし上学年児童が先頭になって隊列を整え、下級生の歩く速さにも気を配りながら登校する姿は素晴らしく頼もしく思えました。

そして 4 月 12 日、朝の陸上練習が始まり、4～6 年生は少し早い登校になりました。3 年生・2 年生が 1 年生を連れてくることとなります。3 年生とはいえ、まだまだ小さな子どもたちです。「ちゃんと連れてこられるかな?」。少し不安を抱えながらも下学年の登校を待っていると、整然と一列で道路の端を、1 年生を導きながら歩いてくるではありませんか。とても立派でした。上学年の模範的な姿が下学年の子どもたちにもしっかり受け継がれていたことに感動すらおぼえました。たとえ教師が毎日指導したとしても一朝一夕で実現する姿ではないからです。

登校時の交通マナーは、上の学年から次の学年に、言葉ではなく実行することをとおして脈々と受け継がれてきたものであり、立派な伝統と呼べるものです。「お兄さん・お姉さん」の立派な姿にあこがれ、下の子どもたちが見えないバトンを心にしっかり受け取ってきたのでしょう。

もちろん教師が適時適切に継続して指導してきたことも事実でしょう。そして日々お家の方から、また地域の方々から、教えられ、時にお叱りを受け、たくさんほめられ励まされ、その結果しっかりと根付いてきたものだと考えます。よき伝統は日々の営みからかたちづくられるのですね。

エピソード 2：もう一つ、心に残ったこと

先週 18 日(火)のこと。警報こそ出なかったものの登校時間は風も雨も強い荒天でした。学校西門につながる郵便局前の交差点で子ども達の登校を待っていました。私の前を何台もの車が走り過ぎるのですが、通る車通る車がみんなスピードを緩めて、対向車のタイミングを見計らってセンターよりを通過してくれるのです。私のために水しぶきがかからないようにという温かい配慮なのです。申し訳ない気持ちと感謝とで雨は冷たかったのですが、心はほっこり温かくなりました。

雨でなくとも子ども達が歩いているとスピードを落とし、センター寄りを通ってくれる運転手さんの多いことにも毎朝頭が下がります。毎朝のように郵便局前の横断歩道に立って下さる佐伯諄一郎様、毎朝登校班に付き添って下さる保護者の皆様、そうした地域ぐるみで子ども達を見守り育てている姿が、毎朝この地区を通過する自動車の運転手にも伝わっていることが実感できました。

登校の話題を例にしました。学校・家庭・地域が一体となって子どもを守り育てる営みが、萬歳地区のよき教育風土をつくり、伝統を築き、受け継がれてきたのでしょう。今年度も地域と一体となった教育活動を推進したいと考えています。子ども達のためにも手を携えて参りましょう。



～ 豊かな心は温かな人間関係から ～

子育てにおいて最も基本となることを学校・家庭ともに確認合しましょう。

1. 子どもとの会話や過ごし方

家庭は子どもにとって最も心安らく居場所です。そして、家族のあいだで交わされる温かい会話やだんらんを通して多くのことを学んでいきます。日頃から家族のコミュニケーションを大切にしましょう。



家族で会話をする機会を増やしましょう

まずは「あいさつ」から…気持ちのよいあいさつでお手本を

「おはよう」「いってらっしゃい」「ただいま」「おかえり」「おやすみ」など気持ちの良いあいさつは、家族の絆を深めます。

「いただきます」「ごちそうさま」「ありがとう」は感謝の気持ちを育てます。

「ごめんなさい」は素直な心を育てます。

あいさつは、人間関係を築く出発点です。親が自分からあいさつする姿を見せて、あいさつから受ける「気持ちよさ」や「うれしさ」を子どもに伝えていきましょう。

一日の出来事を聴いてあげていますか？

「うれしかったこと」「楽しかったこと」「いやだったこと」「くやしかったこと」など子どもの話を聴いてあげることで、安心して何でも話せる信頼関係を築くことができます。

子どもと一日の出来事を楽しく話すなど、家族の会話を増やすことで家族の絆が深まります。お互いに考えていることを話し合う時間を大切にしましょう。

親子でふれあう機会を増やしましょう

家族で過ごす時間を作っていますか？

忙しい毎日の中では、家族みんなで過ごす時間が少なくなりがちです。家族が一緒にいる時間をつくることで、夫婦や親子の会話が増え、コミュニケーションが深まります。また、一緒に家事をしたり、家族でできる何かに取り組んだりすることで、家族の一員として支え合っているということを実感します。

親子で一緒に遊ぶ、食事をする、お風呂に入るなど、普段の生活の中でできるだけ親子のふれあう時間を持つことを心がけましょう。時間は短くても、コミュニケーションをとることを意識しましょう。



上の資料は千葉県教育委員会ホームページ「学校から発信する家庭教育支援プログラム」

(https://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/shougaku/renkei/kateikyoubu/documents/s_1_1.pdf)

より転載いたしました。他にも役立つ情報がたくさん掲載されています。ぜひご活用下さい。